

## 企業・大学等との連携取組一覧

(令和6年度実施)

No.	企業大学No.	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
1	企1	第一生命保険株式会社	(1)健康増進・介護予防に関すること。	フレイル予防を周知するため、訪問活動でリーフレットの配布を実施。	通年
2	企2	第一生命保険株式会社	(3)高齢者の支援に関すること。	「たからづか地域みまもり隊」事業所として、訪問先や店舗において気になる方や異変を察知した場合にその方の居住地もしくは事業所の住所地を担当する地域包括支援センターに連絡するなど、日ごころからの見守り支援に協力いただいた。 地域住民に多くの見守りの目が向くことで、支援が必要な方の早期発見、対応に繋がっている。	通年
3	企3	第一生命保険株式会社	(6)その他、両者が協議し、必要と認めること。	消費者教育・金融保険教育をすごろく形式のゲームで学べる「ライフサイクルゲーム」をフレミラ宝塚に提供いただき、子どもたちが遊びながら学ぶことができている。	6月
4	企4	第一生命保険株式会社	(1)健康増進・介護予防に関すること。	「自宅で実践できる」をコンセプトに、薬膳や運動などの健康講座を宝塚大学サテライトキャンパスで実施した。【宝塚大会議企画】	11月
		大塚製薬株式会社			
		宝塚大学			
5	企5	大塚製薬株式会社	(2)健康維持・増進に関すること。	指定管理者がビピアめふ公益施設で主催するフレイル予防や生活習慣の改善に取り組んでいただくためにフレイル予防セミナーの開催にご協力いただいた。	5月
6	企6	大塚製薬株式会社	(2)健康維持・増進に関すること。	養護教諭研修会で学校での熱中症対策の説明を実施していただいた。	6月
7	企7	大塚製薬株式会社	(2)健康維持・増進に関すること。	小学校の児童を対象に熱中症予防を知らせるための啓発チラシを作成していただき、配布した。	6月

No.	企業大学No.	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
8	企8	大塚製薬株式会社	(2)健康維持・増進に関すること。	高齢者を対象に熱中症予防を知らせるための啓発チラシを作成していただき、担当課で10,000枚印刷して、配布した。	6~9月
9	企9	大塚製薬株式会社	(2)健康維持・増進に関すること。	熱中症に関する知識や熱中症対策の正しい知識を学び学校現場、窓口、イベント等での市民への啓発・普及活動、また職員自身が安全に働く職場環境づくりに活用するため、市職員を対象に熱中症対策アンバサダー講座を実施した。	7月
10	企10	大塚製薬株式会社	(2)健康維持・増進に関すること。	指定管理者がビピアめふ公益施設で主催する熱中症になった時の対応処置など正しい知識を身に着けるためのイベントにご協力いただいた。	7月
11	企11	大塚製薬株式会社	(5)その他、両者が協議し、必要と認めること。	「クールシェアスポット事業」において、サポート企業として協賛品を提供いただいたほか、スポット協力事業者に対する熱中症対策講座（オンデマンド講座）を開設いただいた。	7~9月
12	企12	大塚製薬株式会社	(5)その他、両者が協議し、必要と認めること。	市花グリアの魅力発信を目的としたギネスイベント「Longest line of bouquets ~最も長いブーケの列~」を花のみちにおいて開催するに当たり、参加者の熱中症対策として、ポカリスエット及び冷却用の氷をご用意いただいた。	8月
13	企13	大塚製薬株式会社	(2)健康維持・増進に関すること。	朝活ウォーク市長と歩こう！の開催時に、フレイル予防のミニ講座とカロリーメイトジェリーの提供をしていただいた。	11月
14	企14	明治安田生命保険相互会社	(1)高齢者をはじめとした市民のQOLの向上に関すること。	フレイル予防を周知するため、訪問活動や「KIDSフェス（市制70周年記念事業）」でリーフレットの配布、内容説明を実施。	通年
15	企15	明治安田生命保険相互会社	(2)市民の健康づくりに関すること。	営業職員が顧客（宝塚市民）の自宅や職場への訪問及びオンライン面談の際に「健康増進」「介護・認知症」「子育て」「防災」の4つの分野に関する市民の関心ごとを聞き取り、同社のタブレット端末を使用して最適な市の行政サービスを直接案内するサービスを実施した。	通年
16	企16	明治安田生命保険相互会社	(5)その他、両者が協議し、必要と認めること。	宝塚植木まつり（主催：宝塚市・宝塚市花き園芸協会）の開催に伴い、同社から宝塚市花き園芸協会に対し、祭事助成として寄附をいただいた。本助成は同社が推進する地域貢献や地域の活性化に取り組む「地元の元気プロジェクト」の一環である。宝塚植木まつりにも血管年齢測定等のブースを出展していただいた。	4月、10月

No.	企業大学No.	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
17	企17	明治安田生命保険相互会社	(2)市民の健康づくりに関すること。	がん検診の受診率向上のため、市民を対象にがん検診周知チラシの配布およびがん予防に関するアンケートを実施した。	7月～
18	企18	明治安田生命保険相互会社	(3)結婚・出産・子育ての支援に関すること。	子どもや子育て世帯を温かく見守ってもらう機運の醸成を図るため、「あたたかく子どもを見守るまち宝塚」啓発ポスターの店舗掲示及び市内企業への配布をしていただいた。	1月
19	企19	総合警備保障株式会社ALSOK	(2)地域の安全・安心に関すること。	「たからづか地域みまもり隊」事業所として、訪問先や店舗において気になる方や異変を察知した場合にその方の居住地もしくは事業所の住所を担当する地域包括支援センターに連絡するなど、日ごろからの見守り支援に協力いただいた。 地域住民に多くの見守りの目が向くことで、支援が必要な方の早期発見、対応に繋がっている。	通年
20	企20	総合警備保障株式会社ALSOK	(1)防犯意識の啓発に関すること。	市内小学校を対象に、安心して登下校ができるように、安全標語「いかのおすし」を基に、ロールプレイ形式で体験しながら危機回避の心構えを学ぶ実践的な防犯授業を実施していただいた。	9月～1月
21	企21	総合警備保障株式会社ALSOK	(1)防犯意識の啓発に関すること。	女性向け防犯講座を市職員を対象に実施していただき、職員の意識啓発を図った。	3月
22	企22	生活協同組合コープこうべ	(7)その他、両者が協議し、必要と認めること。	出生届を出した新生児に対し出産祝品を無償で提供した。	通年
23	企23	生活協同組合コープこうべ	(2)暮らしの安心・安全に関すること。	大塚製薬株式会社が熱中症対策の啓発の為に作成したチラシを、各世帯への戸配の際に配布していただいた。	6～7月

No.	企業大学No.	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
24	企24	生活協同組合コープこうべ	(6)食を通じた健康増進の取組に関すること。	<p>①国の食育月間（6月）の期間中、市内7店舗と協同購入センター宝塚の計8か所において、本市が推進中の『第3次たからづか食育推進計画』で掲げる5つの重点目標の中から、店舗ごとに売り場に合ったのぼりの設置と同計画概要版の配布を行い、食育啓発を実施した。</p> <p>②第3次たからづか食育推進計画を策定したことを市民に周知・啓発するため、逆瀬川アピア1において食育パネルの展示を開催した。</p> <p>生活協同組合コープこうべには、「野菜を摂ろう！1日350g以上」をテーマとしてパネルやリーフレット等を作成していただき、食の知識や食の大切さについての情報発信を行った。</p>	<p>①6月～7月</p> <p>②9月～10月</p>
25	企25	生活協同組合コープこうべ	(7)その他、両者が協議し、必要と認めること。	<p>元気な高齢者が生きがいや地域での活躍の場を得るために実施している「健康・生きがい就労トライアル事業」において、市内店舗を就労先として高齢者を受け入れていただいた。</p>	7月～
26	企26	生活協同組合コープこうべ	(7)その他、両者が協議し、必要と認めること。	<p>タンサンフェスへの出店、協賛を通じ、イベント参加者に連携取組を周知するとともに地域貢献いただいた。</p>	10月、3月
27	企27	生活協同組合コープこうべ	(1)環境にやさしいまちづくりに関すること。	<p>ごみの発生を抑え、資源のリサイクルが進む循環型社会に向けた取組を目指し、食品トレイ・空きかん・牛乳パックなどの資源物の店頭回収を実施しているコープこうべの市内店舗を市ホームページで紹介した。</p>	10月
28	企28	生活協同組合コープこうべ	(7)その他、両者が協議し、必要と認めること。	<p>売布、清荒神地域の一部で行ったA Iオンデマンド交通実証実験の共創事業（連携施策）として、環境配慮商品を提供いただいた。また、当実証実験の地域説明会及び利用相談会を実施するに当たり、大会議室とロビーを貸していただいた。</p>	10月～12月
29	企29	生活協同組合コープこうべ	(6)食を通じた健康増進の取組に関すること。	<p>第3次たからづか食育推進計画を市民に周知・啓発するため、令和6年度の重点目標「行事食にちなんだ伝統料理を次世代へ伝えよう」の啓発リーフレットを作成し、市内にある各生活協同組合コープこうべ店内に設置し市民に配布いただいた。</p>	1月
30	企30	生活協同組合コープこうべ	(7)その他、両者が協議し、必要と認めること。	<p>子どもや子育て世帯を温かく見守ってもらう機運の醸成を図るため、店舗等に「あたたかく子どもを見守るまち宝塚」啓発ポスターを掲示していただいた。</p>	2月
31	企31	生活協同組合コープこうべ	(6)食を通じた健康増進の取組に関すること。	<p>「フレイル予防イベント@ピピアめふ」での会場提供及び記念品の提供。</p>	2月

No.	企業大学No.	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
32	企32	生活協同組合コープこうべ	(1)環境にやさしいまちづくりに関すること。	親子で環境に関心を持つ機会となるよう、官民協働で「エコ×エネフェス」を12月1日(日曜日)に、市立文化芸術センターで開催した。エコロジー、エネルギーに関する体験ができるブースの出展やチアリーディングのパフォーマンスを実施し、親子や幅広い世代に楽しんで参加してもらい、多くの人が環境に関心を持つ機会となった。【宝塚大会議企画】	12月
		ネットトヨタ神戸株式会社			
		大阪ガス株式会社			
		株式会社セブンイレブンジャパン			
		神戸女学院大学			
33	企33	ネットトヨタ神戸株式会社	(6)イベントを活用した地域活性化に関すること。	施設の活性化や賑わいを目的に、指定管理者がピピアめふ公益施設・さらら仁川公益施設で主催する「ミニ四駆体験」、「親子ミニ四駆工作教室&レース」のイベントにご協力いただいた。	8月、12月、3月
34	企34	ネットトヨタ神戸株式会社	(3)スポーツの振興に関すること。	12月22日(日)に開催した第20回宝塚ハーフマラソン大会に協賛いただいたほか、大会当日に電気自動車の給電機能を利用して、電源への代替として活用し、大会の盛り上げにご協力いただいた。	12月
35	企35	ネットトヨタ神戸株式会社	(6)イベントを活用した地域活性化に関すること。	施設の活性化や賑わいを目的に、指定管理者がピピアめふ公益施設で主催する「水素実験で水素自動車の仕組みを知ろう!」のイベントにご協力いただいた。	1月
36	企36	ネットトヨタ神戸株式会社	(8)その他、両者が協議し、必要と認めること。	インバウンド誘客や移動負担軽減を目的に、観光庁補助金を活用し、次世代観光モビリティ「C+walkT」を導入し、市内観光スポットを周遊する実証実験を行った。実施にあたっては、株式会社若水に観光モビリティのポートのスペースを提供いただいた。	2~3月
37	企37	エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社	(4)健康・福祉に関すること。	宝塚阪急において、認知症の方が自分のペースで買い物を楽しめる、スローショッピングの試行と、実装に向けた検討を実施している。	通年

No.	企業大学No.	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
38	企38	エイチ・ツー・オーテイリング株式会社	(1)地域活性化に関すること。	宝塚阪急が主催する「宝塚夏休みおしごと体験2024」に消防署、市立文化芸術センター及び手塚治虫記念館が参加し、子どもたちが仕事や社会の仕組みを学ぶ機会の提供及び地域の活性化を図った。	8月
39	企39	エイチ・ツー・オーテイリング株式会社	(2)環境に関すること。	ごみの発生を抑え、資源のリサイクルが進む循環型社会に向けた取組を目指し、食品トレイ・空きかん・牛乳パックなどの資源物の店頭回収を実施している阪急オアシスの市内店舗を市ホームページで紹介した。	10月
40	企40	エイチ・ツー・オーテイリング株式会社	(1)地域活性化に関すること。	タンサンフェスへの協賛を通じ、イベント参加者に連携取り組みを周知するとともに地域貢献いただいた。	10月、3月
41	企41	エイチ・ツー・オーテイリング株式会社	(4)健康・福祉に関すること。	阪急オアシス宝塚南口店の移転後の店舗従業員に対し、認知症サポーター養成講座を行い、移転後店舗の全従業員が認知症サポーターとなった。	3月
42	企42	エイチ・ツー・オーテイリング株式会社	(1)地域活性化に関すること。	宝塚阪急で市の名産品PRコーナーを移設・拡充していただき、「モノ・コト・バ宝塚」をはじめとする市名産品をPRさせていただいた。あわせて隣接するコーナーを市政情報の発信の場として提供いただいた。	1月～
43	企43	阪急阪神ホールディングス株式会社	(6)教育・次世代の育成に関すること。	阪急逆瀬川駅構内に宝塚市立学校園における活動の成果物を掲示するための専用掲示板に子どもたちの作品等を掲示していただいた。	通年
44	企44	阪急阪神ホールディングス株式会社	(7)その他、両者が協議し、必要と認めること。	意思決定の迅速さや、リスクマネジメントを実際の業務を通じて習得するため、市職員の研修派遣を実施した。	通年
45	企45	阪急阪神ホールディングス株式会社	(4)地域の活性化につながる観光の推進に関すること。	市花グリアの魅力発信を目的としたギネスイベント「Longest line of bouquets ～最も長いブーケの列～」を花のみちにおいて開催するに当たり、花のみちを象徴する宝塚歌劇団員に出演いただいた。また、参加者の熱中症対策として宝塚ホテル内の宴会場をお貸しいたいただいた。	8月
46	企46	阪急阪神ホールディングス株式会社	(3)宝塚の歴史・文化・芸術を生かしたまちづくりに関すること。	宝塚を新発見や再発見できるプログラムを全3回行う大人の社会科見学（第一回は台風のため中止）を市内で実施いただいた。宝塚市の魅力を再認識するだけでなく、市民同士のつながりや、市と市内事業者のつながりが生まれた。	9月

No.	企業大学No.	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
47	企47	阪急阪神ホールディングス株式会社	(4)地域の活性化につながる観光の推進に関すること。	タンサンフェスへの協賛を通じ、イベント参加者に連携取組を周知するとともに地域貢献いただいた。	10月、3月
48	企48	阪急阪神ホールディングス株式会社	(6)教育・次世代の育成に関すること。	子どもや子育て世帯を温かく見守ってもらう機運の醸成を図るため、阪神バス車内に「あたたかく子どもを見守るまち宝塚」啓発ポスターを掲示していただいた。	3月
49	企49	大阪ガス株式会社	(4)地域活性化にかかる取組に関すること。	ふるさと納税の返礼品の1つである「宝塚市おでかけ商品券」の加盟店開拓のため、大阪ガス株式会社及び市シルバー人材センターとの三者連携により100店舗以上の事業者を訪問し、新規事業者の獲得に努めた。	7~8月
50	企50	大阪ガス株式会社	(1)脱炭素社会の実現に向けた政策の推進に関すること。	省エネルギー推進を周知するため、市内の小学生と保護者を対象に、環境のことを考えながら買い物・調理・食事・片付けを行う「親子で挑戦!エコ・クッキング」を実施した。 ※大阪ガス㈱のグループ会社との開催	8月
51	企51	株式会社ストークス	(1)スポーツの振興、競技力の向上に関すること。	6月22日(土)に宝塚バスケフェスを開催し、小学生・中学生・高校生・18歳以上を対象としたバスケ教室やチアレッスンを実施した。	6月
52	企52	T0A株式会社	(5) 甲は乙の研究開発や実証実験に連携・協力を行うこと。	防災スピーカーが正常に鳴っていることを確認できる装置を取り付けて、実証実験を行った。防災スピーカーの近くにマイクセンサーを設置し、音響測定を実施。動作状態データを長距離無線通信で通信し、執務室で確認をした。	7月、9月
53	企53	T0A株式会社	(2)次代を担う子どもたちへの教育や次世代の教育現場の実証に関すること。	上半期に市内小・中・たからづか支援学校36校に実施した「音診断学校放送ニーズ調査アンケート」の回答より、連携先が選定した6校で、音の専門家が現地での診断を行う「音診断」を実施した。「音診断」の結果や現場でのヒアリングをもとに、現在連携先で教育現場のニーズに沿った音響設備の開発を進めている。令和7年度は開発した試作機を利用し、モデル校で授業や式典で実際に機器を利用した実証を行う予定である。	10月~3月
54	企54	T0A株式会社	(3) 宝塚の文化芸術や地域資源を生かした観光振興に関すること。	タンサンフェスへの音響の協力と協賛を通じ、イベント参加者に連携取組を周知するとともに地域貢献いただいた。	10月、3月
55	企55	T0A株式会社	(2)次代を担う子どもたちへの教育や次世代の教育現場の実証に関すること。	市内小学校を対象に会社見学と段ボールスピーカー制作をさせていただき、音に関する学びの機会を提供いただいた。	12月

No.	企業大学No.	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
56	企56	株式会社みなと銀行	(6)産業振興、文化・芸術、自然環境に関すること。	市が実施する事業者支援施策を株式会社みなと銀行宝塚支店の行員に案内するとともに、市内事業者の業況等の情報交換を行った。	4月
57	企57	株式会社みなと銀行	(3)次代を担う子どもたちへの教育に関すること。	子どもや子育て世帯を温かく見守ってもらう機運の醸成を図るため、店舗に「あたたかく子どもを見守るまち宝塚」啓発ポスターを掲示していただいた。	2月
58	企58	尼崎信用金庫	(2)次代を担う子どもたちへの教育に関すること。	子どもや子育て世帯を温かく見守ってもらう機運の醸成を図るため、「あたたかく子どもを見守るまち宝塚」啓発ポスターの店舗掲示及び市内企業への配布をしていただいた。	12月
59	企59	尼崎信用金庫	(1)産業振興に関すること。	タンサンフェスへの協力を通じ、イベント参加者に連携取組を周知するとともに地域貢献いただいた。	3月
60	企60	新明和工業株式会社	(6)その他、両者が協議し、必要と認めること。	タンサンフェスへの協賛を通じ、イベント参加者に連携取組を周知するとともに地域貢献いただいた。	10月、3月
61	企61	新明和工業株式会社	(6)その他、両者が協議し、必要と認めること。	市内小学校を対象に工場見学をさせていただき、ものづくりや最先端技術について学ぶ機会を提供いただいた。	11月、2月
62	企62	株式会社若水及び特定非営利活動法人銀座ミツバチプロジェクト	(3)市民等と協力した地域活性化に係る取組に関すること。	(若水に関して)タンサンフェスへの協賛を通じ、イベント参加者に連携取組を周知するとともに地域貢献いただいた。	10月、3月
63	企63	明治安田生命保険相互会社 ネットヨタ神戸株式会社 総合警備保障株式会社ALSOK 生活協同組合コープこうべ TOA株式会社 宝塚大学		4月13日(土)、4月14日(日)の2日間にわたって、市役所第二庁舎及びひろばで「KIDSフェス」を開催した。参加企業による子どもたちの職業体験ブースや、ミニ四駆レースなどを実施した。多くの子ども連れに参加いただき、子どもたちが様々な体験をする機会になった。【宝塚大会議企画】	4月
64	企64	甲子園大学 エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社		生ごみを堆肥に変えて土を作り、宝塚で生まれた苺の品種「宝交早生」を栽培する資源循環プロジェクトを実施した。市内小学校を対象に、宝交早生に関する講座やコンポストによる堆肥作り、人の暮らしとミツバチのつながりに関する授業、苺の苗植	通年

No.	企業大学No.	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
		株式会社若水及び特定非営利活動法人銀座ミツバチプロジェクト		ん体験を行った。 また、エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社が「コンポストチャレンジデイズ」を本市で実施し、市民等とともに堆肥を活用して花のみちの緑化活動や宝塚阪急での苺の苗植えを行った。	
65	大1	関西学院大学	(1)人材育成に関する事項。	講義の聴講及び受講者との交流を通じて、職員の資質向上を図るため、法科大学院司法研究科への聴講生(職員)派遣を実施した。	4月～7月
66	大2	甲子園大学	(6)その他、両者が協議して必要と認める事項に関する事 こと。	思春期の子どもの心の理解と対応について学ぶとともに、意見交換をするなかで関係性を振り返り、より良い関わり方を考える機会として、概ね10～15歳児の保護者を対象に「思春期講座」を甲子園大学と共催で実施した。	7月、2・3月
67	大3	甲子園大学	(5)教育、文化の振興に関する事 こと。	学校法人甲子園学院が所蔵する絵巻などの貴重な資料を展示する「絵巻で楽しむ源氏物語の世界展」を市立文化芸術センター・サブギャラリーで開催し、子どもから大人まで千人を超える多くの来場者があった。	7月～8月
68	大4	甲子園大学	(3)健康増進、食育など市民生活の充実に関する事 こと。	第3次たからづか食育推進計画を策定したことを市民に周知、啓発を行うため、市立芸術文化センターで、魚つりゲームを楽しみながら、魚類の名前や特徴、旬の時期、食べ方などを学ぶための体験型イベントを行った。	8月
69	大5	甲子園大学	(6)その他、両者が協議して必要と認める事項に関する事 こと。	1歳児の心理的発達の概要を学び、意見交換をする中で自分の子どもの状況や保護者としての関わり方についての確認と、子育て不安の解消の機会とするため、第1子で1歳児の保護者を対象に「1歳児きらきら子育て講座」を甲子園大学と共催で実施した。	9月、2月
70	大6	甲子園大学	(4)産業の活性化に関する事 こと。	タンサンフェスへの協力を通じ、イベント参加者に連携取組を周知するとともに地域貢献いただいた。	10月
71	大7	甲子園大学	(3)健康増進、食育など市民生活の充実に関する事 こと。	第3次たからづか食育推進計画を市民に周知・啓発するため、市制70周年イベント「にじいろ福祉フェア」に健康チェックブースを出店し、骨密度測定・貧血チェックなどを行い、TAKARAZUKAベーカリー&カフェフェスでは栄養バランスパーガー作りで栄養バランスについて学ぶ食育体験イベントを行った。	10月、12月

No.	企業大学No.	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
72	大8	甲子園大学	(6)その他、両者が協議して必要と認める事項に関すること。	甲子園大学 栄養学部 食創造学科の学生がオリジナルレシピを考案し、開発した「宝塚牛カレー」をふるさと納税の返礼品に追加した。	12月
73	大9	武庫川女子大学	(6)産業の振興及び活性化に関すること。	本市において若者世代の起業件数が低迷している中、働く選択肢としての起業を認知していただくこと、また、起業について関心を持っていただくことを目的として、本市と包括連携協定を締結している武庫川女子大学において、起業について考えるきっかけとなる講座を心理・社会福祉学部の授業の一環として実施した。	10月、12月
74	大10	武庫川女子大学	(5)子育て支援、健康増進、社会福祉、生涯学習など市民生活の充実に関すること。	①動画作成・お披露目会出演(ダンス部) シニア世代に向けた「フレイル予防ほかほかダンス」を創作・動画作成してもらい、「市制70周年記念事業第16回介護を考える市民フォーラムIN宝塚」でお披露目会を実施した。 ②ウォーキング講座(健康・スポーツ科学部) 「フレイル予防イベント@ピピアめふ」においてウォーキング講座を実施。動画「5分でわかるフレイル予防」出演。	①12月14日 ②2月17日
75	大11	武庫川女子大学	(4)教育、文化・芸術、スポーツの振興に関すること。	たからづかデジタルミュージアム活用の取組の1つとして、子ども向け教育コンテンツを制作している。武庫川女子大学教育学部教育学科の藤井達矢教授とそのゼミ生(令和6年度の4年生)に、卒業制作としてコンテンツ内で使用する絵の制作を依頼した。期間は2カ年で、(令和5年4月から令和7年3月末まで)令和5年度は宝塚市を知るための講座やフィールドワークを行い、撮影した写真やメモを元に習作として絵の描き起こしを行った。令和6年度上半期はコンテンツ内で子ども達に伝えたい歴史や文化財、名所、施設などを3つの時代区分で50カ所に絞りリストを作成した。下半期はリストを元にゼミ生が絵を制作し、その成果物を披露する場として令和7年3月1日(土)・2日(日)に市立文化芸術センターで「移り変わる宝塚のまち展」を開催した。連携イベントとして同日に宝塚文化創造館で小学生を対象に「お絵描きワークショップ」も開催した。ワークショップで描いた絵をゼミ生の作品と共に展示するという内容で計15名が参加した。	通年

No.	企業大学No.	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
76	大12	神戸女学院大学	(5)産業振興、文化・芸術、自然環境に関すること。	学生の視点で観光情報の新たな発信方法を検討・提案していただく。市職員による連携授業や市内でのフィールドワークを行い、学生の視点で観光情報の新たな発信方法を検討していただいた。	4月～12月
77	大13	神戸女学院大学	(5)産業振興、文化・芸術、自然環境に関すること。	ソリオ1のピアノを神戸女学院大学音楽学部の学生に演奏いただき、「ミニコンサート」を開催した。市内に設置しているストリートピアノをPRすることができた。	6月
78	大14	宝塚大学	(6)メディア・芸術における地域連携に関すること。	手話は言語であるという理念のもと、きこえる人ときこえない・きこえにくい人が共に暮らす共生社会の実現に向けた啓発として、「手話言語の国際デー」のシンボルカラーで市役所第2庁舎を青色にライトアップした。	9月
79	大15	芸術文化観光専門職大学	(1)宝塚の芸術文化や地域資源を生かしたまちづくりに関すること。	豊岡演劇祭2024in宝塚の開催に当たり、芸術文化観光専門職大学の学生に当日スタッフとして従事いただくなどの連携を行った。多くの来場者に演劇公演をご覧いただくことができた。	9月
80	大16	芸術文化観光専門職大学	(5)地域の政策課題等に関する学術・研究に関すること。	芸術文化観光専門職大学の学生が本市でフィールドワークを行い、清荒神参道への若者誘客を目指したアイデアを市に提案していただいた。	3月